

●ヒメチャマダラセセリの発見・現在

発見は偶然が重なった結果だった。

1973（昭和 48）年、北海道大学理類に入学した鈴木茂は、北大昆虫研究会に入会した。オサムシに興味を持つようになり、札幌近郊での採集の後、初めての遠征をアポイ岳に決めた。

5 月下旬、一人アポイ岳に登った鈴木は、馬の背に入る少し手前で、一頭のセセリチョウを発見した。チョウをよく見てみると、どこか感じが違っていたが、それ以上は気にもとめなかった。

翌 1974（昭和 49）年 4 月下旬、同じ昆虫研究会の仲間に標本や資料を見せたところ、「これは日本でまだ見つかっていないチョウに違いない」と興奮した声で叫んだ。

昆虫研究会での話し合いの結果、早急に調査をすすめることとなり、同年 5 月から、会員によって詳細な生態調査が行われた。

発見は当初公表していなかったが、愛好者の間で噂が広まり、テレビや新聞でも報道されると乱獲騒ぎも起きたことから、結果的に異例の速さで国の天然記念物に指定されることとなった。

近年は、生息地アポイ岳の環境変化により、ヒメチャマダラセセリが減少し、絶滅が危惧される状況にある。



●ヒメチャマダラセセリ

セセリチョウ科の一種で、1973（昭和 48）年に北海道様似町にあるアポイ岳で、日本で初めて発見された。

ヨーロッパ、シベリア、中国東北部に分布し、日本では、アポイ岳周辺のみ隔離分布しているところから、遺存種と考えられる。

1975（昭和 50）年 2 月、国の天然記念物に指定された。

●演劇「発見 ～アポイの夢～」

1976（昭和 51）年、札幌藻岩高校演劇部が、高文連支部、全道大会で上演した作品で、様似町での上演にあたり大幅な改訂を加えた。

演劇部の顧問で作者の菅村敬次郎は、蝶が大好きな生徒が貸してくれた本の一冊「北海道の高山蝶 ヒメチャマダラセセリ」に心を打たれ、早速北大に出かけ、昆虫研究会のサークル室で、発見に携わった会員から話を聞いた。彼らは、蝶の発見の喜びというよりも、自然との共生の難しさに戸惑っているように思われた。

夢のチョウと出会った一人の若者と、その仲間を描いた作品。

若者たちが「発見」したのは…。

この演劇をご覧になる皆さんは、何を「発見」するでしょうか…。

▼本公演の情報やアポイの自然、様似町の情報は、様似町・アポイ岳ジオパークホームページ、フェイスブックでもご覧になることができます。

【キャスト】

鈴木 茂	込 山 将 広
山本	瀬 川 禎 輝
永盛	南 太 洋
辻	南 光 遥
沢井美香	木 村 優里花
高木	高 橋 沙 綾
鈴木静江	河 原 まゆみ
北大総長	菊 池 乙 之
白水九大教授	田 中 友 幸
音丸純一郎	菅 村 敬次郎
沢井貴子	小 山 由美子
新聞記者	永 井 孝 佳
	早 川 久美子
蝶の精	伊 藤 青 空
	生 田 瑚 桃
	本 間 陽 菜

【スタッフ】

原 作	菅 村 敬次郎
演 出	森 一 生
音 楽	中 野 ゆうき
振 付	門 田 しほり
舞台照明	相 馬 照 明
舞台音響	東 沙 織
舞台設備	(株)ステージコンサルティング
舞台美術	福 田 恭 一
舞台装置	福 田 舞 台
舞台監督	長 谷 亨
制 作	演劇集団「群'73」
	鳥 嶋 清嗣郎
	永 井 孝 佳